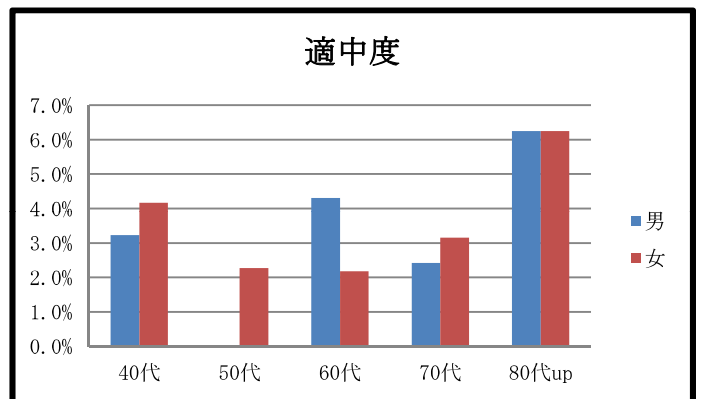
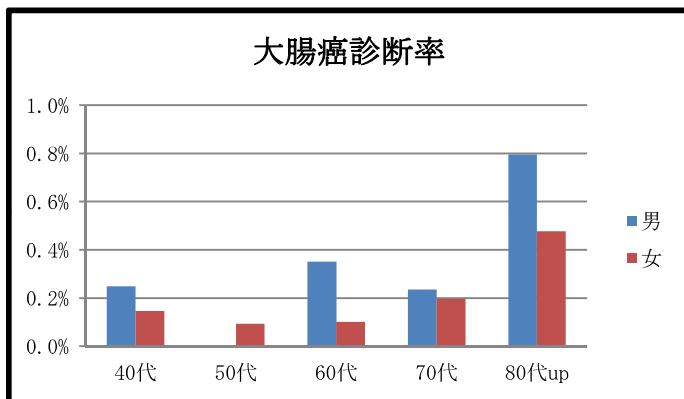
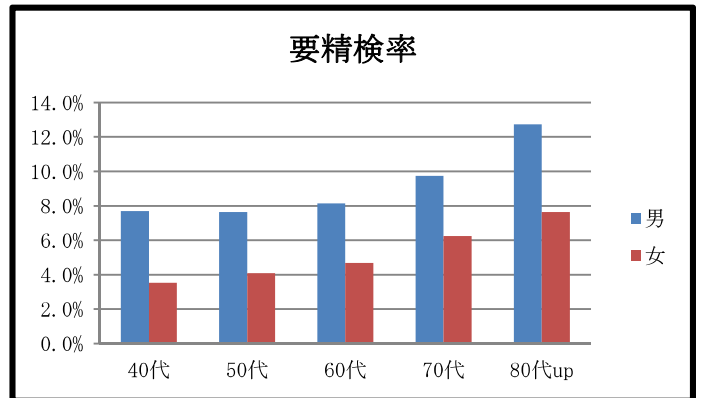
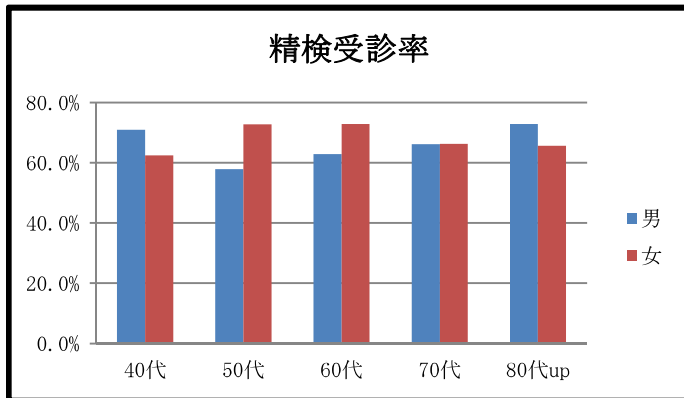


4. 大腸がん検診（便潜血検査） 有所見者状況

当法人における大腸がん検診は、主に出雲市からの受託事業等で、便に血液が混入しているか否かを検査する便潜血検査である。大腸がんの発見には、この検査が有効であるとされているが、潰瘍やポリープ、痔でも血液が混入することがあるため、この検査結果では、大腸がんという確定はできない。確定診断をするために精密検査を受ける必要がある。大腸がんは、早期発見すれば、ほぼ100%近く完治すると言われていたが、一般的には自覚症状がない為、無症状の時期に発見することが重要となる。以下、当法人にて2011年度の状況及び2007年から2011年度までの5ヵ年間に於ける年代別受診者数、要精検査者数、癌診断数、要精検査率等を表に示した。また全体の要精検査率、精検査受診率、癌診断率、的中度の年度別推移を表とグラフで示し、島根県及び全国のデータと比較した。

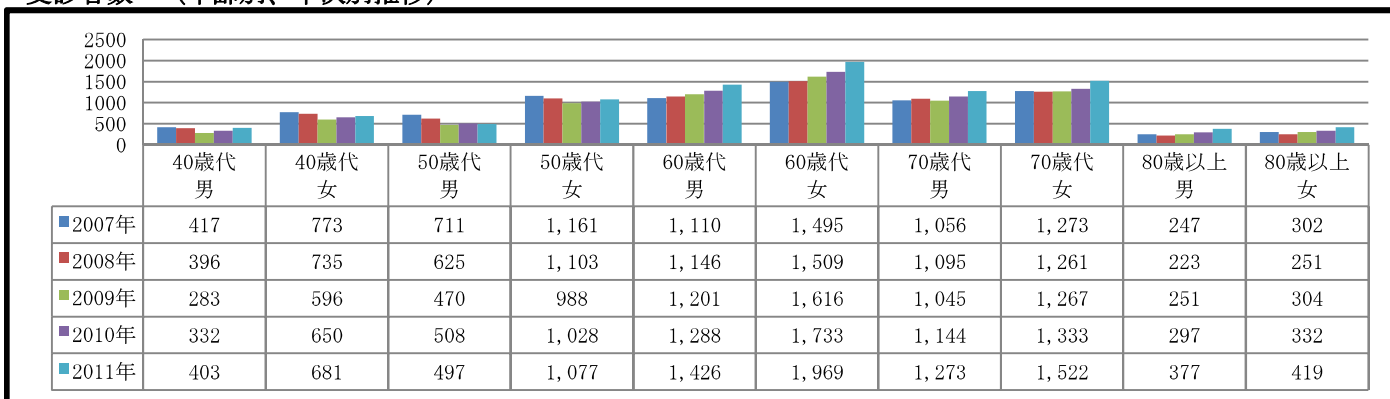
～2011年度 結果～

	合計	男	女	40代		50代		60代		70代		80代UP	
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
申込み者数	10,617	4,456	6,161	519	790	592	1,160	1,575	2,118	1,358	1,610	412	483
受診者数 (A)	9,644	3,976	5,668	403	681	497	1,077	1,426	1,969	1,273	1,522	377	419
要精検査者数 (B)	644	357	287	31	24	38	44	116	92	124	95	48	32
精検査受診者数 (C)	432	234	198	22	15	22	32	73	67	82	63	35	21
癌診断数 (D)	21	12	9	1	1	0	1	5	2	3	3	3	2
要精検査率 (B/A)	6.7%	9.0%	5.1%	7.7%	3.5%	7.6%	4.1%	8.1%	4.7%	9.7%	6.2%	12.7%	7.6%
精検査受診率 (C/B)	67.1%	65.5%	69.0%	71.0%	62.5%	57.9%	72.7%	62.9%	72.8%	66.1%	66.3%	72.9%	65.6%
癌診断率 (D/A)	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.4%	0.1%	0.2%	0.2%	0.8%	0.5%
適中度 (D/B)	3.3%	3.4%	3.1%	3.2%	4.2%	0.0%	2.3%	4.3%	2.2%	2.4%	3.2%	6.3%	6.3%

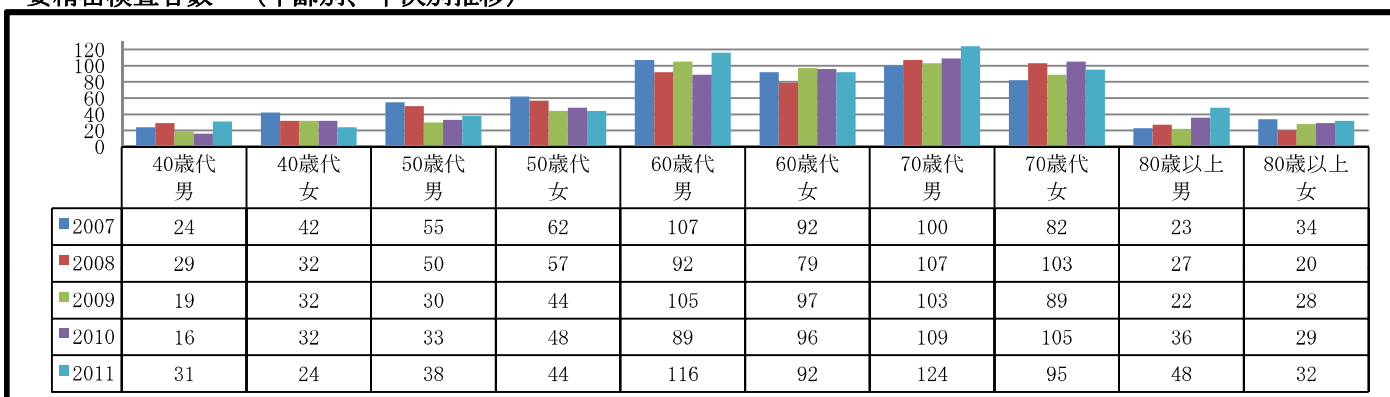


～過去5年間の推移～

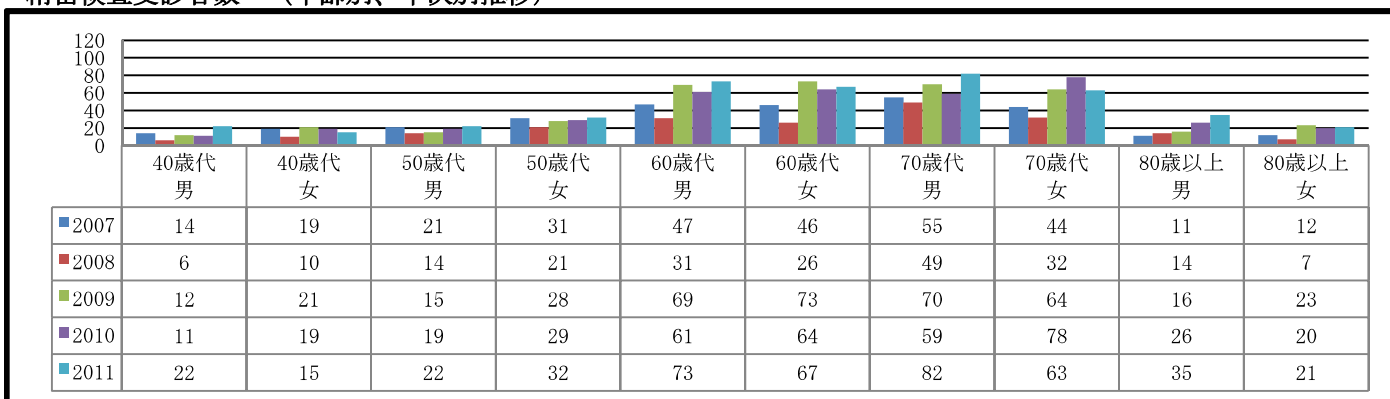
受診者数 (年齢別、年次別推移)



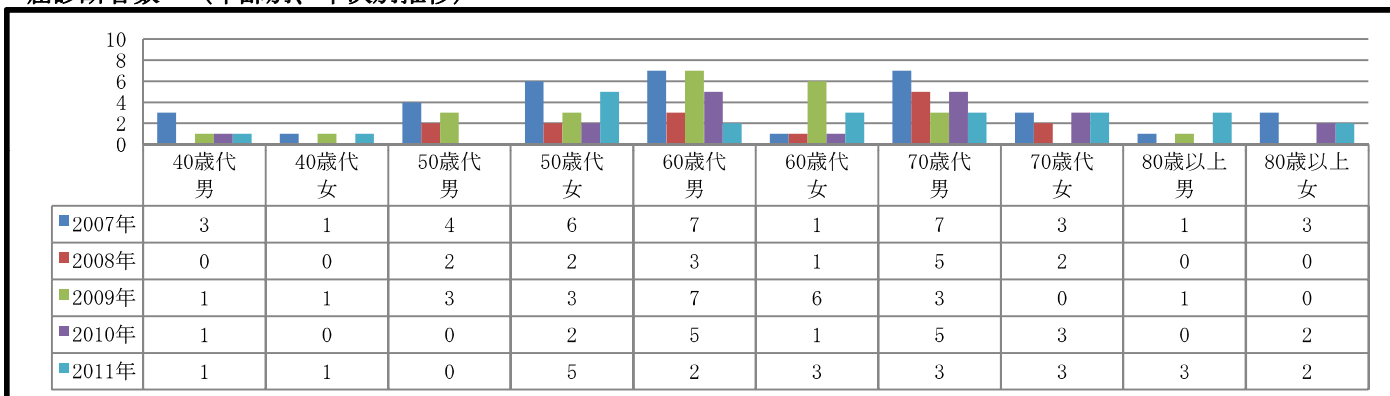
要精密検査者数 (年齢別、年次別推移)



精密検査受診者数 (年齢別、年次別推移)



癌診断者数 (年齢別、年次別推移)



全体 (男女別、年次別推移)

		2007	2008	2009	2010	2011
		男	8.7%	8.8%	8.6%	7.9%
要精検率	女	6.2%	6.0%	6.1%	6.1%	5.1%
	総計(率)	7.3%	7.1%	7.1%	6.9%	6.7%
	男	47.9%	37.4%	65.2%	62.2%	65.5%
精検受診率	女	48.7%	33.0%	72.1%	67.7%	69.0%
	総計(率)	48.3%	35.2%	68.7%	65.1%	67.1%
	男	0.6%	0.3%	0.5%	0.3%	0.3%
癌診断率	女	0.3%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%
	総計(率)	0.4%	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%
	男	7.1%	3.3%	5.4%	3.9%	3.4%
適中度	女	4.5%	1.7%	3.4%	2.6%	3.1%
	総計(率)	5.8%	2.5%	4.4%	3.2%	3.3%

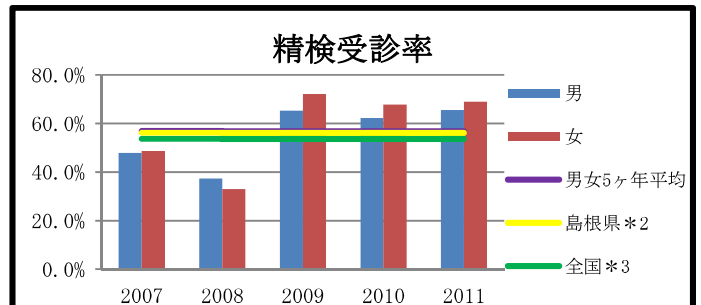
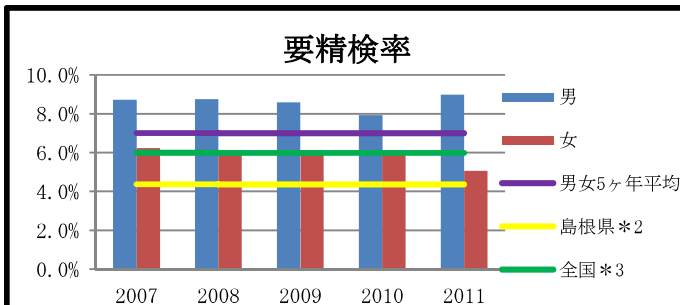
当法人での大腸がん検診(2007年から2011年の5ヶ年平均)と島根県及び全国データとの比較

	当法人検診*1 総数(年平均)	当法人検診*1 男(年平均)	当法人検診*1 女(年平均)	島根県*2 総数(2000年)	全国*3 総数(2000年)
申込み者数(人)	9,594.2	4,046.0	5,548.2		
受診者数(人)・・・(A)	8,640.2	3,564.2	5,076.0	42,224	5,775,937
要精検査者数(人)・・・(B)	604.6	306.6	298.0	1,842	345,766
要精検査者率・・・(B/A)	7.0%	8.6%	5.9%	4.4%	6.0%
精検受診者数(人)・・・(C)	343.8	170.8	173.0	1,034	185,391
精検受診者率・・・(C/A)	56.9%	55.7%	58.1%	56.1%	53.6%
癌診断数(人)・・・(D)	23.2	14.0	9.2	66	6,926
癌診断率・・・(D/A)	0.3%	0.4%	0.2%	0.2%	0.1%
適中度・・・(D/B)	3.8%	4.6%	3.1%	3.6%	2.0%

*1 は当法人の2007年から2011年度までの5年間平均値を表示

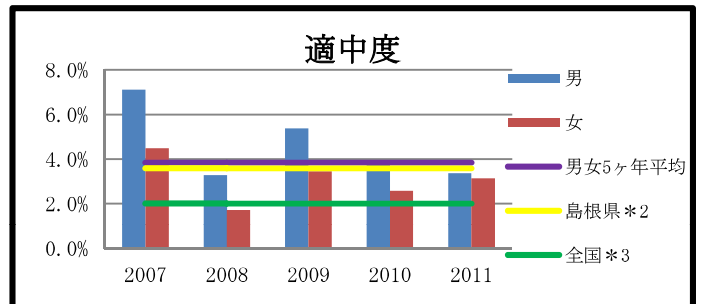
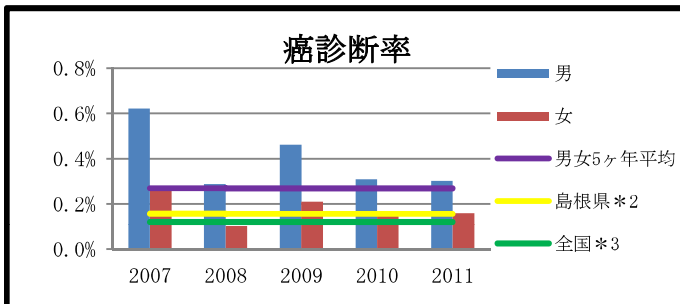
*2.3 は社団法人日本消化器がん検診学会「平成21年消化器がん検診全国集計資料集」より抜粋

■*1当法人男女5ヶ年平均(率)ライン ■*2島根県集計 2009年度男女総計(率)ライン ■*3全国集計 2009年度男女総計(率)ライン



要精検率における年次推移は、男女とも横ばい傾向、男は女よりも約2%高い率である。男女合わせた5年間平均は、7.0%と全国及び島根県集計より高い率である。

原因は不明であるが、2009年以降は、2007年、2008年と比較すると男女とも約20%程度高い。男女別では、女が高い傾向にある。尚、5年間の平均は56.9%と全国及び島根県集計とほぼ同水準である。



年次推移は、癌診断率、適中度ともに同じような傾向にあり、男女別では、男が女より高い傾向にある。5年間の平均では癌診断率は0.3%、適中度は約4%と、ともに全国及び島根県集計より若干高い傾向にある。